



失敗を恐れず、チャレンジしよう!

始業式で子どもたちに「**勇気100%で、間違いや失敗を恐れず、チャレンジしよう**」という話をしました。このことは、4月から繰り返し子どもたちに伝えています。

6月30日号に書いたことと重なりますが子どもたちの様子を見てみると、「間違ったら嫌だから」「失敗したら恥ずかしいから」やる前から尻込みして、やってみることすらしないということがあります。

学校は、間違えたり、失敗したりしながら、成長していくところです。間違えても、失敗しても、そこから逃げずに、ねばり強く何度でもチャレンジしていけば、できるようになることはたくさんあります。たとえできるようにならなかったとしても、チャレンジした人は必ず成長しています。逃げてしまったら、自分で自分が成長できるチャンスを捨ててしまっていることになってしまいます。

どんな小さなことでもいいから、チャレンジできるように後押しし、見守り、励まし続けていきたいと思えます。

もう一つ話したのは「**勇気を出してがんばる友だちを応援しよう**」ということです。

勇気を出して発表したときに笑われたり、一生懸命がんばってことをばかにされたりする。そんな雰囲気の中だと、チャレンジする気持ちが出せなくなってしまいます。

失敗を恐れずチャレンジした人は、たとえ失敗をしたとしてもチャレンジしたそのこと自体がとても尊いことだと思います。

人の間違いや失敗を笑ったり、馬鹿にしたり、否定したりするのではなく、勇気を出してがんばる友だちを応援して、ともに成長していける人になって、あったかい学級・学校をつくってほしいと思えます。

先生も子どもたちのチャレンジする気持ちやがんばりの過程を応援していきます。

ご家庭では是非、子どもたちが学校でがんばっていることやチャレンジしようとしていることを話すとき、肯定的に聴いて、その子の思いを受け止めてあげてください。

全国学力・学習状況調査結果について

4月18日(火)に、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校の学力調査の結果は、算数は、全国平均を上回る結果でした。それに対して国語は、全国平均を大きく下回る結果でした。算数において、基礎基本の定着が見られる一方で、国語においては「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「話すこと・聞くこと」「情報の扱い方に関する事項」に課題が見られました。

しかし、算数・国語ともに、無回答率(何も書かないこと)が低く、子どもたちがねばり強く調査問題に取り組んだことがわかります。

実際、子どもたちは、ねばり強く考え、最後まであきらめず取り組んでいました。正解か不正解かということ以上に、この姿勢こそが、これから子どもたちが伸びていくために大切な力だと思います。

学習状況調査(児童質問紙)では、「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問では、全員が肯定的な回答をしていました。人に対しての優しさや思いやりが感じられ、うれしく思いました。

「国語の勉強は大切だと思いますか」の質問に、全員が肯定的な回答をしている一方で、「国語の勉強は好きですか」という質問に肯定的な回答をしているのは50%を下回っていました。子どもたちが興味を持って学習し、国語の力を高めていくことができる授業や取り組みが必要と考えています。

現在、調査結果を分析し、それぞれの学年の具体的な取り組みについて検討しています。後日、改めて学校だよりで報告します。

